

日本共産党のおおつか未来候補 前回票を上回る善戦・健闘

日本共産党のおおつか未来候補に対して、大きなご支援ありがとうございました。総選挙へのご支援をお願いします。

おおつか未来候補は、得票率一四・五九％を獲得し、善戦、健闘いたしました。

日本共産党とおおつか未来候補は、石原都政と自公・民主「オール与党」のすすめたくらし・福祉切り捨て、一方で巨大大道建設と新銀行東京のムダづかいを告発し、東京の福祉・医療を守ることを訴えました。この訴えは、多くの区民の大きな共感をえましました。

日本共産党は、選挙で訴えた、2つのゼロー75歳以上の医療費ゼロ、保育園待機児ゼロの公約の実現のためみなさんとともに奮闘していきます。

ひきつづき、都議選後に行われる

都議会議員選挙結果

当日有権者総数 170,308人、有効投票数 76,403人、投票率 45.44%

今回	党派	得票数	得票率	前回	党派	得票数	得票率
おおつか未来	共産	11,145	14.59%	くばた 光	共産	10,403	21.23%
大塚たかあき	民主	35,224	46.10%	来代勝彦	自民	16,216	33.09%
きたしろ勝彦	自民	23,907	31.29%	大塚隆朗	民主	13,494	27.54%
いとうひでき	無	5,410	7.08%	清原和幸	無	4,613	9.41%
なべしまひさし	諸派	717	0.94%	菊池正彦	無	4,117	8.40%
				志良井 栄	諸派	163	0.33%



2009年7月13日
日本共産党港地区委員会

※前回有権者総数 146,556人
有効投票者数 49,948人、投票率 34.08%

みなと民報

2009年7月号外 日本共産党港地区委員会は都議選の結果について発表しました。

東京都議会議員選挙の結果について

2009・7・14

日本共産党東京都常任委員会

一、日本共産党を支持してくださった都民のみなさん。わが党の前進のために、昼夜をわかつた協力くださった支持者、読者、後援会のみなさん。ご奮闘くださった党員のみなさん。ほんとうにありがとうございます。また、物心両面にわたって、おしみない支援をお寄せくださった全国のみなさんに、心から感謝いたします。

今回の都議選で日本共産党は、江東区で失った議席を回復したものの、6つの現職区で議席を失い、みなさんのご期待にこたえられず、8議席にとどまったことに心からのおわびを申し上げます。私たちは、かかげた公約の実現をめざし全力をつくすとともに、みなさんのご意見をくみつくし、けん土重来を期して奮闘する決意です。

一、今回の都議選は、自公政治への失望と怒り、変革への願いが噴出するもどで、日本共産党は、自民、公明、民主の各党が「オール与党」として石原都政を支え、悪政を推進してきたことを事実にもとづいて告発し、真の対決が「日本共産党対自公民『オール与党』」にあることを積極的におしりました。また、高齢者の医療費無料化、保育園待機児の解消、都立病院の存続、30人学級、中小企業と若者支援などの実現の道をきりひらく日本共産党の値うちを大いに訴えてたたかいました。この訴えは、都民の願いにかなったものであり、正確で攻勢的なものでした。それだけに、これらの訴えが届いたところでは、広範な都民の共感と支持をひろげることができました。

一、今回の日本共産党の得票は、70万7602票であり、これは前回（2005年）を2万7402票うまわり（前回比104%）、2007年の参院選の比例票（55万4601票）、2005年の衆院選の比例票（58万6017票）も大きくこえました。投票率が10・5ポイントも大きくあがり、127万人の新しい人々が投票し、「自民か民主か」の「政権選択」キャンペーンが大規模にすすめられたなかで、わが党の陣地を基本的に維持し、若干伸ばしたことは貴重です。

この得票は、総選挙での「比例2議席以上、90万票以上の得票」の実現へ重要な足がかりとなるものです。今回の得票を2007年参院選比例票とくらべると、日本共産党が127・6%、民主党が100・1%、自民党が94・7%、公明党が103・5%であり、日本共産党が得票でも得票率でも他のどの党よりも前進しています。私たちは、目前に迫った解散・総選挙において、今回の都議選の経験と教訓を最大限にいかし、勝利のために全力をあげるものです。

今回の選挙戦で、日本共産党の訴えを全有権者規模で届けまることができませんでしたが、その最大の問題は、もてる力を総發揮することに成功していないことにあります。それだけに、当面する総選挙では、この弱点の克服のために、今度こそ「支部が主役」で全支部・全党員が決起することに執念をもち、とりこみを抜本的に強める決意です。地域支部はもちろん、職場支部、タテ線の全党員が力を発揮することによってこそ、勝利をきりひろくことができます。この点で、活動参加をひろげること成功した選挙区・支部の教訓をほりさげつつ、「全党員がたちあがれば勝てない選挙はない」を合言葉に頑張ります。

総選挙の投票日は8月30日が濃厚です。首都東京での新たな前進めざして奮闘する決意を重ねて表明します。